



おうちの方へ

# ほけんだより

赤阪小学校 保健室

6年生特別号

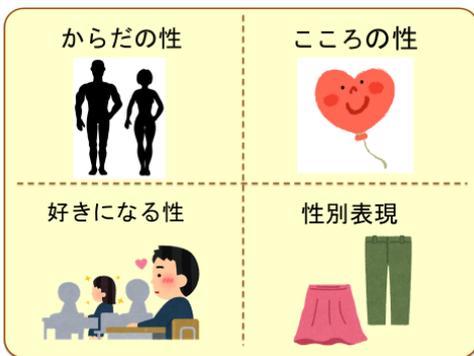
R5(2023).6.19

## 「自分らしさって? (多様な性 LGBTQ)」について学習しました



6月16日の体重測定後、性的マイノリティ(LGBTQ)について、多様性を尊重することの重要性について学びました。思春期は、「自分らしさ」を探す時期です。二次性徴をむかえ、自分の性の在り方について悩む時期でもあります。その為、多様な性に関する正しい知識・情報を学習することにより、自他の違いを尊重する心をもってほしいという思いをこめて、この学習を行っています。今回の学習内容の一部をご紹介します。

↑今回の授業で参考にした本です。保健室に置いてあって、自由に読めます。



### セクシュアリティの4要素



からだの性・・・生まれもったからだの特徴による性

こころの性・・・自分の性をどのように思うか

好きになる性・・・恋をしたり、ふれたいと感じる性

性別表現・・・服装、ふるまい、言葉遣いなどで自分をどのように表現するか

「オカマ」「ホモ」「レズ」「オナベ」は差別的な言葉とされているので、使わないようにしましょうと伝えています

## LGBTQ っていう意味?

- L:レズビアン …〈こころの性〉が女性で〈好きになる性〉も女性の人
- G:ゲイ …〈こころの性〉が男性で〈好きになる性〉も男性の人
- B:バイセクシュアル …〈好きになる性〉が異性の場合も同性の場合もある人
- T:トランスジェンダー …〈からだの性〉と〈こころの性〉が一致しないという感覚を持つ人
- Q:クエスチョン …性的指向や性自認が揺れ動いたり定まっていない

思春期の子ども達は、周りとの違いや差にとっても敏感です。そして、自分だけが違うということを恐がったり、不安がったりします。けれど、人との差を“おかしいこと”、“変なこと”ととらえずに「あたりまえのこと」「変える必要のないこと」として考えることができたらと思います。自分らしく、ありのままで。

## LGBTQ を自認した時期は 13.4 歳が最多、小学校入学前から自覚がある子も

「LGBTQ の学校生活に関する実態調査(2013)」(いのちのrespect. ホワイトリボン・キャンペーン)

「オカマとからかわれていた」「小学校低学年の時には違和感を感じ始めていた」「小学校のときには自分ではよくわからない感情があり(中略)、苦しかった。」というのは、実際のセクシュアルマイノリティの当事者の方の声です。現在、性的マイノリティの割合は、7.6%(13人に1人)と言われており、決してどこか遠くの話、というわけではありません。

いじめや暴力を受けたことがある (LGBT)  
68%

不登校を経験したことがある (トランスジェンダー)  
29%

自殺念慮を抱いたことがある (トランスジェンダー)  
58.6%